



風
 俗
 文
 選
 終序目
 一

^ 5
 5700
 1



風

俗

文

選

終序目

一

^ 5
5700
1

風俗文選

0073
1



本朝文選



本

正次本朝文選



贈保元院圖書

v 57275

門へ6
號5700
卷1

朝文選卷一



五老の許六選

五老井許六選



風俗文選序

月澤 律師 季由述

飛蝶乃羽友子。お老井の許六。滑稽

俳諧新古今乃文章と拾ひ集めく風

俗文選と題も。びしーやまといふ文選集め

ていふ事を

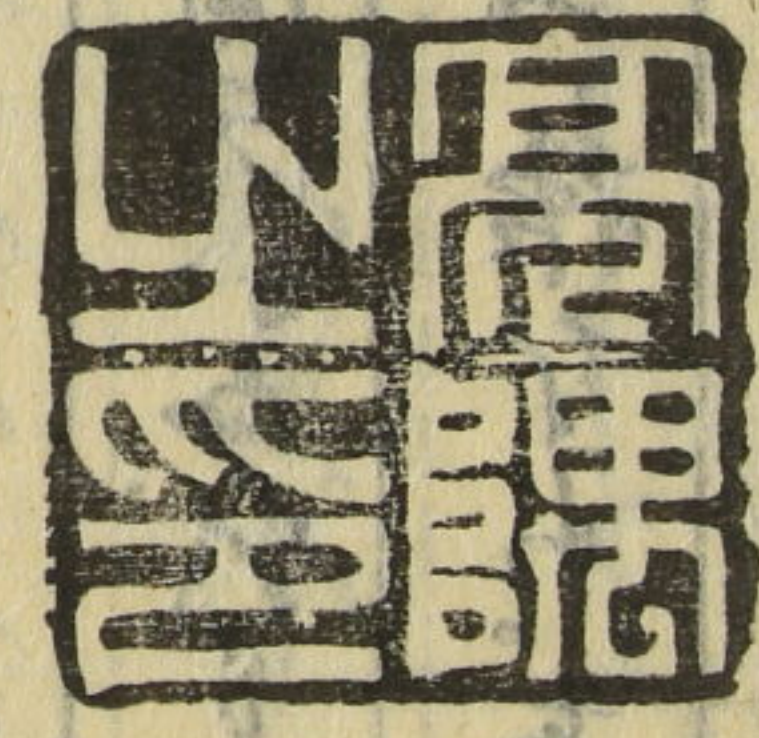
本館の文粹といふ。我およ。け文粹々。

本館の人お述作よりして。文乃俾。かしく

漢文なる一。今辨ふる文選。和書ノ
 文素より其作をのり。漢文は凡
 へり。むし。い。ふ。り。や。ま。し。回。お。か。し。と。そ。る。皆。く
 双紙物徳のそくい。の。こ。り。て。
 本朝の文章と稱する。よ。お。か。今。此。凡
 俗文選の。の。り。が。く。し。史。漢。文。を。文。選
 教を定ぬ。顔。を。し。て。を。格。の。り。ま。さ。る。が。心
 風。今。され。と。回。し。文。素。と。り。く。文。選。と。古。文

と。小。記。す。る。は。を。辨。お。遠。あ。れ。漢。文。と。て
 も。怪。な。し。と。と。り。く。わ。か。し。て。和。文。の。文。字
 の。教。さ。し。ま。あ。顔。字。と。も。な。し。志。く。を。
 去。来。の。胤。賦。よ。お。ま。お。通。の。か。り。の。り。韻。
 是。和。文。の。韻。を。あ。か。る。一。格。な。り。あ。お。り。ち
 顔。を。用。る。も。よ。し。其。子。小。志。し。し。自
 由。か。る。一。回。ほ。辨。と。し。の。り。ら。を。題。の
 執。し。よ。り。く。を。辨。と。さ。る。む。し。を。お。ま。お。人

如とす。一。江東僧律師李由字買年
於西梅庵序



[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

風俗文選序

洛柿舎 去來

世小俳諧の文ありてを集しといふは既にしるす事也。先
師一といふは立のよるはこと。心よかき物希なり。神ん
むりもやとあるもすと世余もせなるらん。今や門家
お多神れ。風雅小技ふらふし。小。管。吹。響。を。横。
又揚子。聲。を。あ。ら。ふ。と。お。す。く。あ。ら。ふ。と。今。け。い。文。集。を。弁
と。今。く。始。ま。紫。門。辭。あり。終。は。頌。讚。の。風。流。を。重。と。
或ら書あり。或は福ありて。説。賤。の。よ。と。或。述。又。謀。財

名を強と。自甚能乃才ありて。評多の疎をり。其
と。其社を子歳の存に於て。ん。い。又。其。子。年
と。其。彼。其。子。の。所。乃。句。讀。と。教。少。の。類。な。り。ん。也。
け。又。其。志。ま。る。者。に。び。道。を。志。る。者。を。也。作者。其。所。に
お。き。せ。ん。と。稱。する。と。其。の。湖。東。森。氏。の。子。の。い。く。
虚。字。の。何。も。つ。る。人。と。い。ふ。一。志。る。が。今。其。名。望。を。感
し。け。又。選。を。意。さ。る。光。也。室。小。元。好。日。序

風俗文選序



風俗文選序

東華坊 文考

編り。小文選ある所ら。昔。其。の。文。選。な。り。人。や。と。
あ。り。そ。の。い。く。何。も。よ。と。其。也。湖。東。の。氏。子。評。羽。友
か。ま。よ。凡。文。ま。ら。固。孔。乃。ん。を。傳。へ。在。其。の。學。び。て。教
業。せ。り。神。と。和。漢。よ。ん。を。傳。へ。ふ。ま。ま。と。そ。の。安。を。傳。へ。る。
い。れ。ば。又。よ。ん。也。人。と。い。ふ。す。い。く。は。さ。り。つ。く。そ。れ。に。ん
つ。て。い。く。い。く。其。が。何。の。い。く。也。又。ま。よ。何。乃。ん。の。あ。り。ん。
ん。と。い。く。乃。ん。の。い。く。也。す。い。く。い。く。世。の。小。文。選。化。し。て。い。く。と。其。選
化。を。志。ま。る。人。を。い。く。也。深。を。志。す。神。の。人。と。い。く。い。く。也。其。選
人。乃。ト。其。を。し。れ。つ。る。也。乃。よ。う。う。少。文。選。よ。ん。な。れ。と。

風俗文選

自序

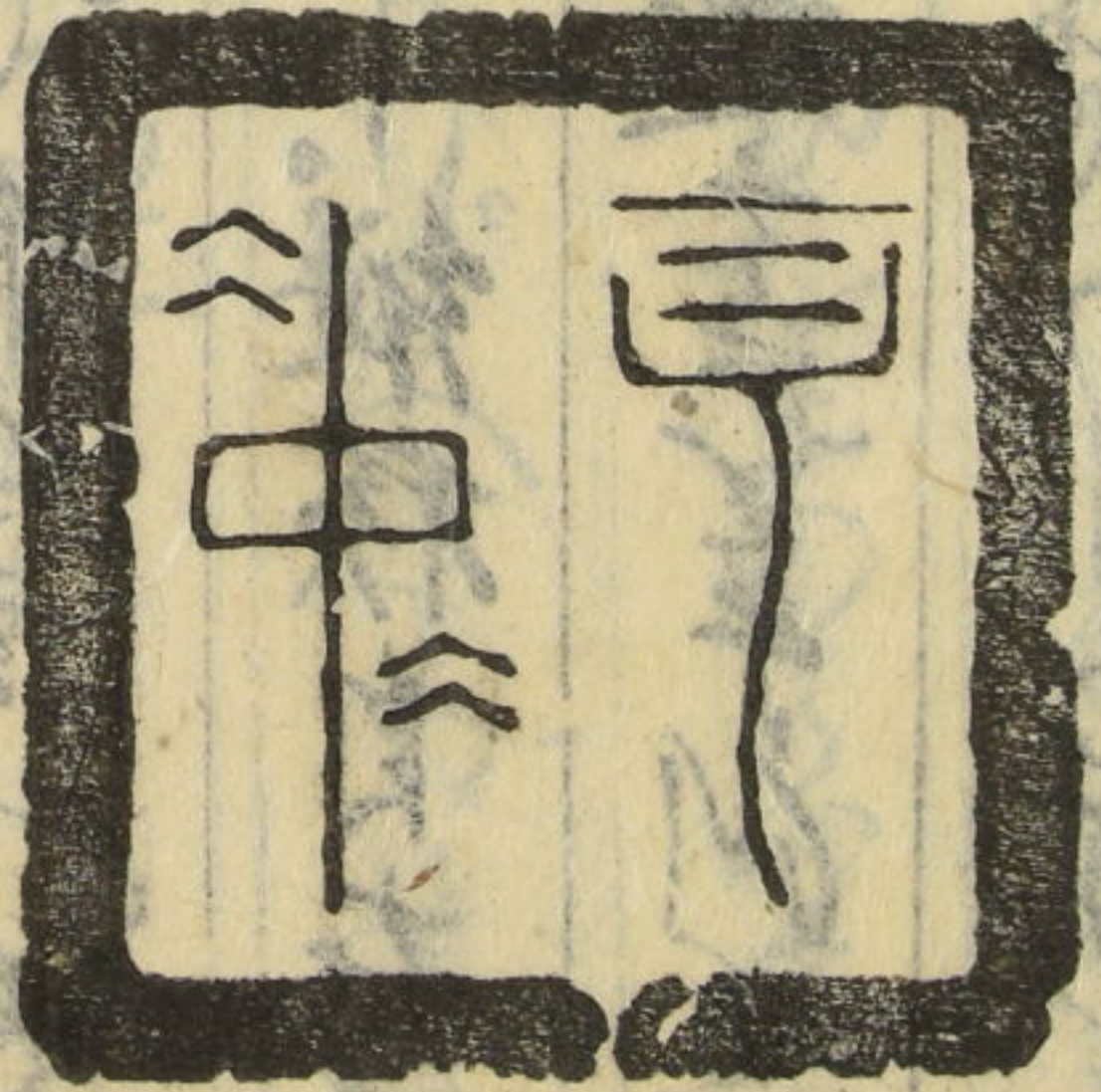
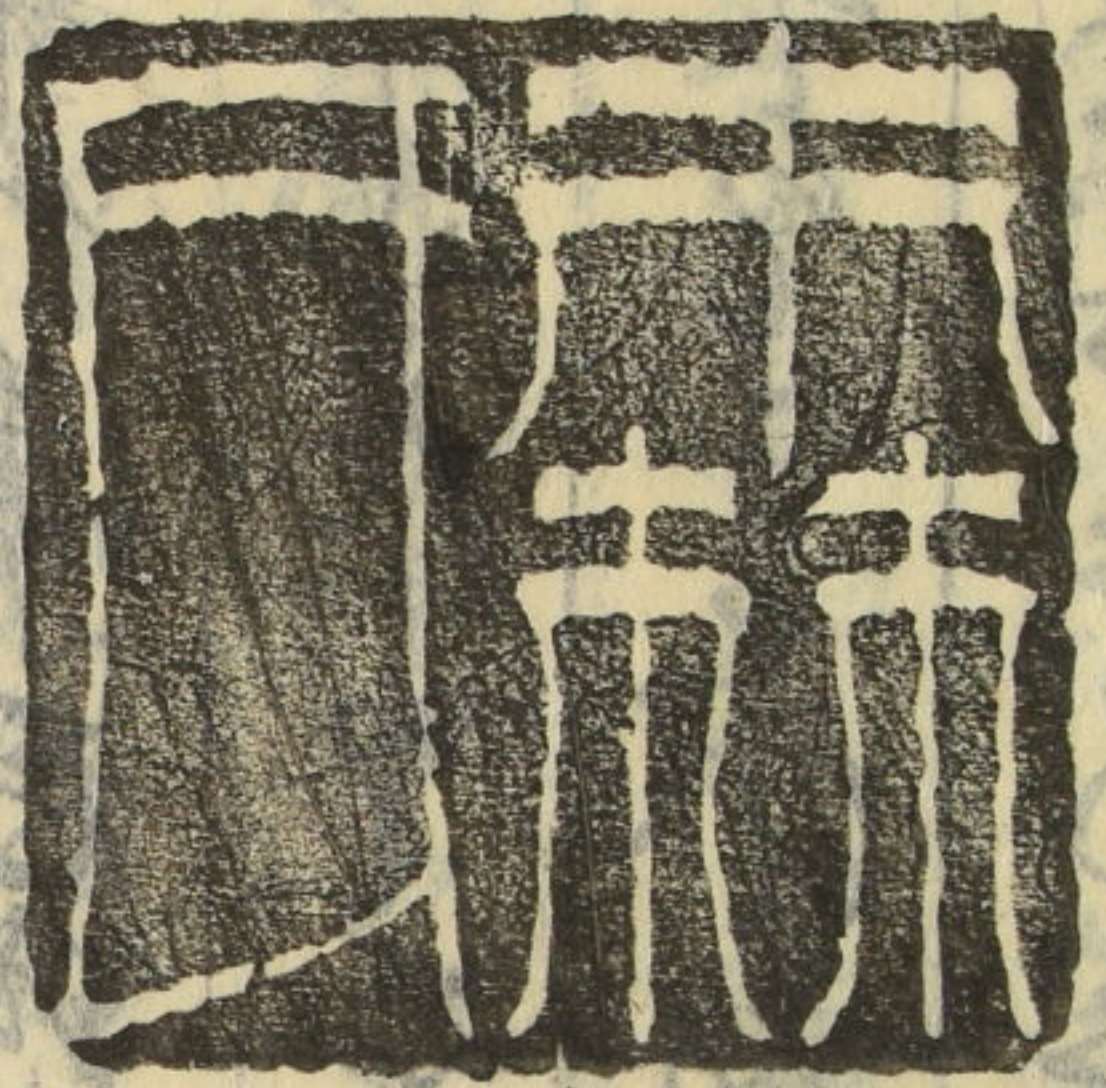
五老并許六選

文々貫道の器也。孔子も筆力あり、
 此れを以てし。吾邦禮首のびり
 あり。大和詞代文筆。庫子も車下
 みてむ。はまこと。世におこる。はま
 こと。はまこと。源氏様

長乃半しうひ、男女共中、或はうゝ。實は、
奇よまほへき道程よたねへ〜共可
歌連奇の文法めて、誹諧文章早ん
格式一言もた〜先師芭蕉翁始て
一格越えと〜気韻生動とあ〜き
たとひ鄙言漢字をま〜つわとも
中々吉野き〜田の花み葉をう〜や

み、和奇の浦志越せて、難波津の細き
よあ〜せたるも志〜〜。縦横自在を
画〜するも〜ひ〜の趣を平〜る本
なり〜る。帝室家の丸いおは〜〜。子落〜
果の松坂を仕舞とる世心。甚と下し事
〜〜。今も中あ〜〜と文章。蘇々二十
文ハ一百十有餘篇。皆〜俳諧文章なり。

山流平のみにて... 入つて... 子
 六を井神子の撰集て... 室方采乙乙面歳。
 自序して風俗文選といふ云尔



本朝文選

○作者列傳

芭蕉翁者伊賀之人也。武名松尾甚七郎奉
 仕藤堂家。壯年時辭官遊茂列江戸風雅
 為業。號桃青。乃誹諧正風。躰中興開祖也。
 嘗世為遺功。修武小石川之水道。四年成
 速捨功而入深川。芭蕉菴出家。年三十七。
 天下稱芭蕉翁。遊東西南北。說風雅。助諸
 門人。國中悉歸芭蕉風。一遇難波津伏病。
 終卒。年五十一。葬江列義仲寺。
 浪化者。東門主一如大僧正之連枝也。號應

真院。居千越中井波瑞泉寺。一日遊洛會。芭蕉翁效風雅。後著有磯海前後集。病薨。年三十二。

僧丈艸者。尾刈犬山產也。其年辭武出家。隱松本山上。蕉門之騷客也。能詩。後三年閉關而終不出。病死。常讀法華經。年四十四。僧千那者。江列堅田產也。居千本福寺。釋名妙式上人。掌任律師。號蒲菊坊。中華蕉門之高弟也。

僧李由字。買年。近列之產也。居千光明遍照寺。釋名亮隅上人。掌任律師。入蕉門而學風雅。年久。故著韻塞篇。突宇陀法師書。病死。年四十五。

支考字盤子。號東花西花。亦號獅子庵。濃列之產也。入蕉門業風雅。一方門人也。先師滅後。遊東西南北。說風雅而助諸生。故往徃慕支考風者多矣。中遇居于勢列山田。後歸故國。作誹書數篇。辨俳諧之論。

晋其角者。武列江戶產也。生醫家。不學醫術。終業俳諧。寶井氏。號狂而堂。蕉門之一人。而後起。已一風。著誹書數篇。

嵐雪者。服部氏。不知何許人。業風雅。遊武江。

戶蕉門之高弟也。後別妻出家。

野坡者。越之前列人。生商家。居于武江戶。蕉門之學者也。一遊西海。不定其所居。隨師得炭俵之撰号。

北枝者。加列金澤之人也。業磨工。見蕉翁好風雅。北方之逸士也。

涼菟者。勢列山田神職之人也。業風雅。初號團友。

露川者。伊賀之人也。生商家。居于尾名護屋也。好蕉門之風雅。

雲鈴者。與列南部之人。產武壯年。入道。自號摩詰菴婆且人。風雅師。東花坊。一渡依渡。

島著入日記。

吾仲者。洛陽人也。居于六條。業佛画。好風雅。師李由。自號柳後園。著柿表紙三卷。

路通者。不知何許者。不詳其姓名。一見蕉翁聽風雅。其性不實輕薄。而長違師命。飄泊之中。著能諧之書。

凡兆者。加列之產也。業醫。居于洛。學蕉門之風雅。一罪事。不知其終處。

素堂者。山口氏也。居于武陽。避世務。隱于深川。友芭蕉翁善。

嵐蘭者不知何許人。松倉氏業武奉仕板倉家而奉諫速辭官。携母隱于武淺州。蕉門之老弟也。為月遊于鎌倉病死。

荊口者濃列大垣之武士也。宮崎氏蕉門故老之士也。此節千川文鳥三士之父也。後致仕改名東宇。

去來者肥前之產也。後隨兄居于洛陽。向井氏也。中華蕉門之高弟也。號落物舍。隨師選猿蓑後病死年五十三。

万子者加列金澤之武士也。生野氏號此君菴。蕉門之英士也。

厚為者加列太聖寺之武士也。河地氏蕉門之英士也。病死。

木導者江列龜城之武士也。直江氏自號阿山人。蕉門之英才也。師翁稱奇異逸物。

汶村者江列龜城之武士也。松井氏字師薑。號九華亭。蕉門之達士也。嘗能書畫。繪師五老井。

毛純者江陽彦城之武士也。北山氏号大雅堂。好風雅。愛畫圖。師五老井。程已者近列龜城之武士也。朝倉氏号白日堂。愛蕉門之風雅。

朱迪者。江陽慶城之武士也。寺島氏。号其露臺。年久好風雅而入蕉門。病死年四十三。撰者許六者。江州龜城之武士也。名百仲。字羽官。森川氏。號五老井。别号菊阿佛。一見蕉翁。得正風躰實。血脉道統之門人也。常友李由撰俳書數篇。

以上二十八人

風俗文選目錄

○卷之一

辭類

柴門辭

芭蕉翁

鶯辭

許六

示秋之坊辭

支考

示古鏡辭

李由

送新道心辭

文州

燒蚊辭

嵐蘭

鉢扣辭

去來

四季辭

許六

○卷之二

賦類

南都賦

汝村

鎌倉賦

許六

吉野賦

丈柳

松嶋賦

芭蕉

富士賦

嵐籟

湖水賦

季由

前磨山賦

支考

後磨山賦

去來

○卷之三

賦類

附譜

鼠賦

去來

旅賦

許六

揚揮豆賦

毛紈

四蹂廬賦

季由

風閑扇賦

汝村

招魂賦

支考

譜類

百鳥譜

支考

百花譜

許六

山水譜

許六

○卷之四

說類

簑虫說

素堂

柴賣說

九兆

閉關說

芭蕉

師說

許六

名阿段說

許六

出女說

木尊

雜說

不知作者

愛釋說

万子

卍字藤說

程巳

草刈說

露川

山羊說

吾仲

嘲霄惑說

毛統

解類

獲麟解

許六

長雪隱解

許六

藪醫者解

汶村

○卷之五

記類

落柿舎記

去來

幻住菴記

芭蕉

十八樓記

芭蕉

五老井記

許六

九華亭記

汶村

琵琶亭記

許六

風水二臺記

許六

紀行類

鹿島紀行

芭蕉

南行紀

李由
許六

序類

曠野序

芭蕉

猿蓑序

其角

宴柳後園序

支考

要文集序

許六

近江八景序

千那

画樓繪合序

許六

四絕文章序

李由

麻生後序

許六

銀河序 芭蕉 番椒序 上ガガウ 野波

○卷之六 許六

箴類

飲食色欲箴 許六 聽箴 許六

銘類

机銘 芭蕉 東銘 支考

西銘 許六 茶碗銘 嵐雪

雲華園銘 汶村 飯鉢銘 吾仲

左右銘 芭蕉 是非齋銘 許六

誄類

嵐蘭誄 芭蕉 丈艸誄 去來

去來誄 許六

○卷之七

歌類

挽歌 支考 鄙歌 五首

文類

俳諧發願文 浪化 聖靈祭文 李由

剃髮文 支考 祭猫文 支考

吊古戰場文

芭蕉

斷絃文

許六

○卷之八

傳類

公平傳

汶村

東嶺傳

芭蕉

牧童傳

支考

五郎四郎傳 支考

靈虫傳

去來

和氣傳

李由

直指傳

許六

碑類

壺碑

芭蕉

笠塚碑

李由

○卷之九

辯類

詩歌誄諧辯

丈州

定先後辯

支考

豆腐辯

許六

天狗辯

木尊

手足辯

汶村

人參辯

許六

射御辯

許六

○卷之十 表類

雨乞表

許六

朝佛骨表

其角

讀佛骨表

厚為

陳情表

支考

○卷之十

論類

旅論

許六

仁不仁論

北枝

蕎麥論

許六

頌類

誄諧頌

李由

蕎麥切頌

雲鈴

酒德頌

朱迪

石臼頌

芭蕉

讚贊類

西行上人像讚

芭蕉

神農讚

涼兔

義少年畫讚

許六

團扇贊

荊口

入學贊

許六

紫芝母贊

許六

書類

院艷書

日蓮上人報書

瓜 罈

瓜 罈

瓜 罈

瓜 罈

瓜 罈

瓜 罈

瓜 罈

瓜 罈

瓜 罈

瓜 罈

瓜 罈

瓜 罈

瓜 罈

瓜 罈

瓜 罈

瓜 罈

瓜 罈

瓜 罈

瓜 罈

感しんまゝや。重いさひてふかゆと。以て、
予々中子とたれ。されども、
端ぬをゆよ。と、
らか、
一、あぶた、
多、
あつて、
さ、
ふ、
巨、

飄、辞

許六

○男、
人、
一、
一、

世は花場がとき世情のうき名をわてむ。らんらのそ
いさ減り志く終となりん也。

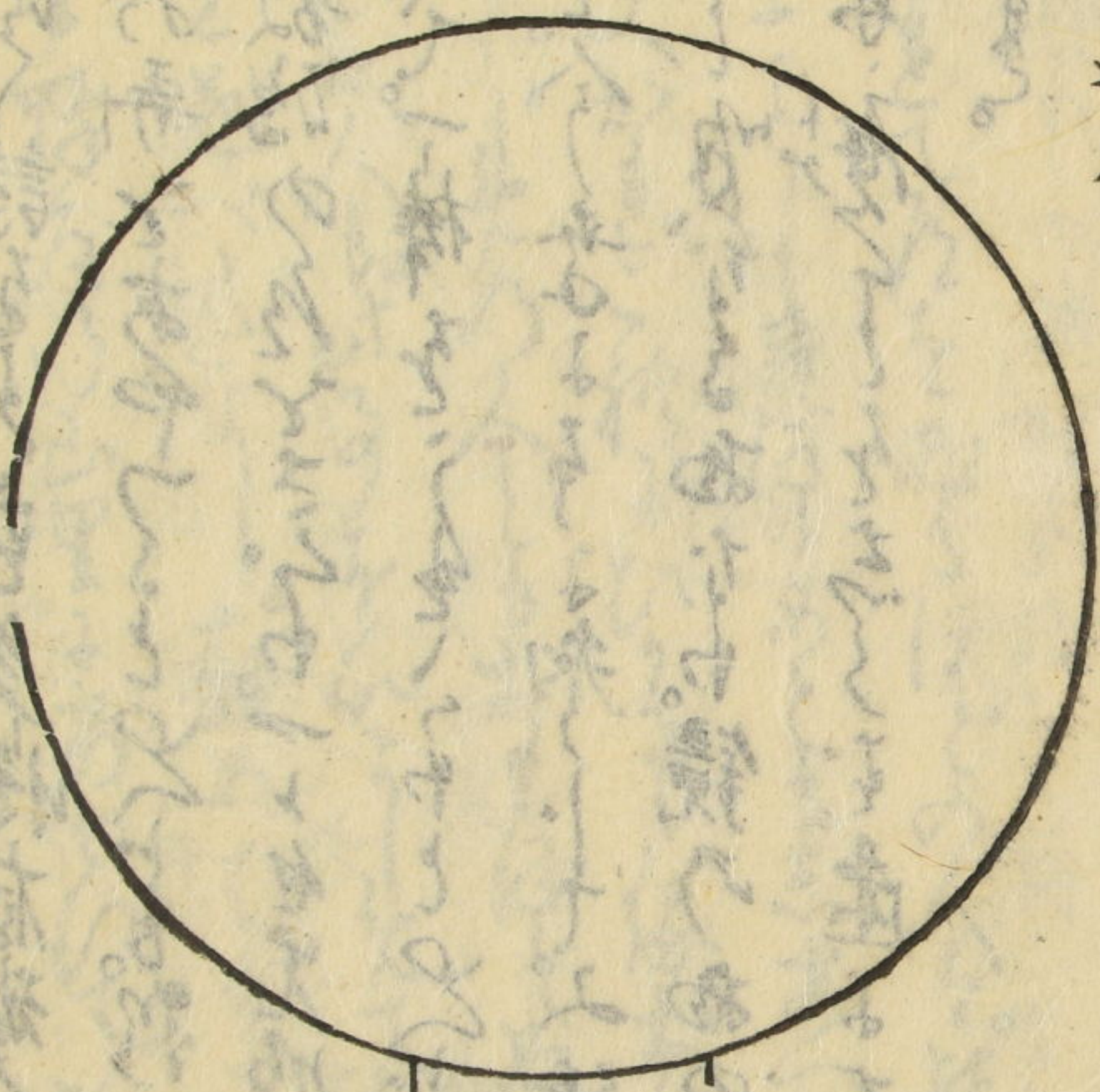
丸ぬりし之よよれ手や甚切記

示僧古鏡辞

李由

いよ傍あり。古鏡とつゞき業よりこえて。東海の浪
あそぶ。また濃列閑なり。がど志清孫六が徹を得て
紫電白蛇籠とと。こゝろひつちを振はざるを天
誰あひごの款もさふありん。さるるむじうは御今
乃まき刀におひ。信成編乃花の鏡もうち果とて今

三糸村の津よふの終祭りもや。いよもさるる能
終に澄陽乃を加道りよまき。まのよもさるる。
ふふも又を。



[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

此人かしく詩をよむ。多情有夢の画を彩つ。春
世系新弄をあやつるとどども。猶以雅子足をこ
かして。敷鴨の尾をさぐら。つとせ先明。園新
瑞履の比まらへて。一棒をこをへつとどども。心
まぶ深はもむを。今もまよる子判りて。又後を
磨ぐむと。此雅なりし。唯かむおなや。鏡乃
おの教をういしが如し。汝えん事。磨ぐとを
志らむ。速よまい。く。お眼を
ぬく事。

別れと花のうらみ

第...

贈新道心辞

文州

世をたかまてるを。おるほどの人か。皆
つかじ。お志を發して。まこ。まけ。あ
もま。あ。新。い。縁。お。け。平。無。か。わ
ぬ。神。い。又。か。ま。こ。新。い。縁。お。け。平。無。か。わ
て。文。ま。こ。あ。ん。人。し。も。お。お。ほ。ぬ。あ。る。ま。い。め。む。お
回。く。た。古。人。も。け。ま。を。ん。り。先。て。お。家。を。お。家。の。心。存。り。
お。家。を。遊。べ。ま。こ。一。お。め。を。ま。や。り。ぬ。曾。九。子。々。
み。の。心。存。る。心。里。も。あ。ら。い。て。お。ま。い。ひ。か。る。難
乃。い。た。る。縁。も。ほ。ゆる。事。乃。後。と。傳。へ。く。ち。ら。る。お

丁をわきま。心奪よかきむ。神をうけ。傳ひゆりて。
今乃あらざ。子正。ま。新。ほの。心。家。を。お。こ。さ。る。と。
こ。さ。は。乃。は。い。を。保。ぐ。い。て。押。お。辞。を。中。お。わ。ぬ。
心。神。を。わ。く。入。後。子。あ。ら。し。及。乃。見。

焼蚊辞

崑蘭

蚊。蚊。帳。中。の。蚊。汝。を。焼。し。辞。を。見。し。も。油。け。辞。を。う。
付。く。も。い。ま。死。し。と。も。う。い。う。た。ま。ら。し。と。せ。よ。交。還。難。
を。禁。中。よ。や。一。た。ん。神。し。法。保。ぐ。り。し。と。彼。を。心。を。と。死。
二。神。を。心。を。と。り。し。死。と。く。人。乃。肌。を。せ。ま。る。か。き。と。を。し。む。

や。神。を。ふ。く。ま。む。や。
ま。神。を。ま。よ。か。ら。れ。て。ま。の。お。よ。や。法。を。帳。に。入。
帳。の。お。よ。や。は。あ。い。神。を。う。く。い。づ。神。を。う。く。や。
神。保。護。乃。大。入。を。ま。い。し。き。け。む。り。た。や。而。よ。海。
を。う。く。も。い。ち。く。は。を。神。し。保。を。た。も。つ。け。お。ま。乃。
神。の。絶。た。む。り。も。ま。を。う。く。む。い。の。あ。い。神。を。ま。し。
油。が。や。り。も。う。り。何。を。保。と。せ。し。義。神。の。送。り。の。暫。也。
さ。い。く。須。心。小。ま。ふ。が。神。付。か。く。神。を。保。を。か。り。と。い。
へ。も。天。下。の。お。り。し。若。を。の。づ。く。ま。さ。が。ふ。又。油。を。ら。い。む。や。
到。處。衆。を。禱。文。を。さ。け。日。本。を。ま。さ。る。夷。賊。を。お。く。神。を。う。
共。よ。天。下。し。油。を。い。よ。べ。よ。あ。ら。む。大。海。あ。い。極。を。

吾もくも。由よ。他せ。今。此。回。類。を。ね。へ。ま。ぬ。さ。つ。ふ。二。真
 光。ら。す。つ。鴨。の。ね。ま。ふ。ぐ。し。可。親。う。ら。う。ふ。南。乃。陽。子。押
 合。て。飛。お。り。も。ま。り。よ。ゆ。る。は。か。つ。き。乃。い。福。さ。く。く。は
 祀。よ。す。ゆ。り。ん。と。お。ほ。ひ。り。わ。く。又。な。さ。れ。況。さ。う。さ。う。は
 悪。さ。る。お。ほ。う。れ。を。お。か。し。お。親。め。お。し。と。り。也。お。ん
 子。近。よ。や。い。との。波。を。さ。り。お。ま。お。遠。風。に。ま。つ。つ。神
 て。波。乃。く。所。體。は。も。中。し。そ。神。も。う。ゆ。さ。く。て。や。り。く。膝
 を。ま。つ。こ。い。か。く。ふ。な。つ。い。ま。さ。る。心。成。して。矣。變。お。か。さ。る
 派。ら。湯。島。の。さ。り。ま。し。お。し。神。て。何。買。ふ。お。か。さ。る。派
 だ。と。う。嫌。し。と。う。わ。お。ほ。く。さ。る。海。日。ら。い。神。さ。り。と。う。や
 後。お。か。乃。福。新。後。所。藤。の。中。し。り。も。費。乃。散。務。し。

矢。て。さ。さ。り。よ。お。ね。う。も。難。多。れ。さ。神。の。佛。と。ん。も。い。や。ま
 あ。く。と。若。今。令。乃。庸。を。彩。い。周。は。權。令。と。最。上。した。は。い。く
 格。御。よ。い。令。派。を。浦。と。や。い。づ。も。お。神。神。は。詣。て。く。後。お
 乃。書。よ。よ。め。て。き。ま。ま。ね。い。な。し。世。の。中。お。人。乃。心。お。死。よ。ら
 う。は。さ。や。ま。く。翁。ら。は。い。く。長。し。て。回。答。の。令。派。も。と。て
 然。乃。あ。さ。り。ま。り。す。お。い。へ。い。あ。ま。乃。遊。び。よ。南。の。の。ま。り
 ま。て。神。乃。一。令。一。足。も。さ。み。ご。し。橋。を。お。の。し。い。し
 さ。れ。は。神。て。も。若。神。を。花。乃。名。お。い。つ。も。飯。貝。い。回
 乃。お。湯。よ。わ。あ。ま。さ。乃。ま。さ。と。も。ま。つ。ら。ん。げ。所。い。ら。神。勒。乃
 代。は。は。い。よ。今。い。も。お。じ。い。ら。世。の。人。お。南。日。し。お。母。よ
 も。い。ら。た。ら。る。神。乃。や。い。も。さ。れ。く。ほ。く。お。派。の。ま。り

夫。卯月の夕打星しつり心里に植根の意は何を
 卯の也といふやと云む。錫も銀も。とて小判乃膚
 たり。牡丹乃花の如きと云ふ也。世に穉なる紅とて
 長安新嘉言の如くあり。秋に魂をうたふ。神の如
 う。新由のよふと云ふ。小判を極く。極む。たぬし。
 重宝を極む。極む。あかき。あかき。あかき。あかき。池程
 船所乃島岸なり。一歩を日と云ふ。あかき。あかき。
 馬買牛買の如く。あかき。あかき。あかき。あかき。
 仙樂の如く。あかき。あかき。あかき。あかき。
 養少の標。蒲上。あかき。あかき。あかき。あかき。
 ち。あかき。あかき。あかき。あかき。あかき。あかき。

つま。あかき。あかき。あかき。あかき。あかき。あかき。
 向。あかき。あかき。あかき。あかき。あかき。あかき。
 舟。あかき。あかき。あかき。あかき。あかき。あかき。
 空。あかき。あかき。あかき。あかき。あかき。あかき。
 東。あかき。あかき。あかき。あかき。あかき。あかき。
 乃。あかき。あかき。あかき。あかき。あかき。あかき。
 て。あかき。あかき。あかき。あかき。あかき。あかき。
 乃。あかき。あかき。あかき。あかき。あかき。あかき。
 と。あかき。あかき。あかき。あかき。あかき。あかき。
 て。あかき。あかき。あかき。あかき。あかき。あかき。
 此。あかき。あかき。あかき。あかき。あかき。あかき。

